

# 2024年度中央社保協第1回運営委員会 議題

2024年9月4日(水) 13時30分～ 日本医療労働会館会議室A・オンライン

【出席確認】※は代理参加

○運営委員

日野(新婦人)、聖生※(全商連)、西野(全生連)、藤原(農民連)  
民谷(福祉保育労)、村田(全教)、廣岡(年金者組合)、桶谷(医労連)  
曾根(保団連)、島田(共産党)、中本(国公労連)、山本(自治労連)  
大島(医療福祉生協連)、酒井(民医連)、白沢(障全協)

沢野(北海道)、高橋(宮城)、段(埼玉)、竹内(千葉)、大嶋※(東京)  
根本(神奈川)、藤牧(石川)、小松(愛知)、寺内(大阪)、楠藤(徳島)  
森本(岡山)、日高(鹿児島)

○事務局 林・治田(事務局)、上所(保団連)、山本(民医連)、五十嵐(全労連)

## <報告事項>

---

中央社保協 新役員(8/10 総会以降)の確認

代表委員 高木 りつ(全労連)  
代表委員 渡辺 勇仁(日本医労連)  
事務局次長 五十嵐健一(全労連)  
運営委員 桶谷 恵美(日本医労連)

中央社保協 介護部会役員(全労連)の変更(9月より)

溝口 耕二さん → 小田島 俊さん(おだじま しゅん)

## <報告・確認事項>

---

1. 前回の代表委員会(8/7)以降の取り組み

8/08(木) 社会保障誌打合せ

8/09(金) 子ども医療全国ネット事務局会議

8/10(土) 第68回中央社保協総会(別紙)

8/19(月) 第1回国保部会

8/21(水) 中央社保学校打合せ(オンライン) / 社会保障誌編集委員会

8/22(木) マイナ連絡会街頭宣伝 / 中央社保学校第3講座打合せ

8/26(月) 中央社保学校実行委員会 / 中央社保学校第3講座打合せ / 25条宣伝(新宿)

8/28(水) 中央社保学校第3講座打合せ / 第1回代表委員会

8/29(木) 中央社保学校 ZOOM テスト 中央社保学校オンライン開催切り替え

8/30 (金) マイナ連絡会総会 & 学習会

8/31 (土) 第 51 回中央社保学校 FROM 大阪 ~9/1 (別紙)

## 2. 第 68 回中央社保協総会 (8/10) 振り返り

2024 年 8 月 10 日 (土) 11 時~16 時 30 分 (昼食休憩 45 分)

会場 50 名、オンライン 61 ヶ所、111 名参加 発言 29 名 (1 人 5 分)

現地開催の追求 (昨年 37→50)、休日開催 (昨年水曜日)、発言の保障

8/28 代表委員会

・限られた時間でスケジュール通り進み、29 名の発言を保障できたことは大変良かった。1 年に 1 度の総会で討論を深めるという意味では、このタイトなスケジュールでは限界があるのではないかという意見もあり。

参考 (過去 2 回)

2022 年 8 月 3 日第 66 回総会 会場 (中央社保協) オンライン 参加 110 人

2023 年 7 月 5 日第 67 回総会 会場 (全労連会館) ZOOM 併用 参加 102 人

## 3. 第 51 回中央社保学校 from 大阪 (8/31-9/1) 振り返り

公式発表で実参加 430 名 (現在精査中) 台風 10 号の接近により、8/28 大阪会場開催が困難とのことで、現地実行委員会と代表委員会で完全オンライン開催の切り替えを確認。寄せられた感想文を見る限り、どの講座も大変良かったと好意的な感想が多く寄せられている。引き続き感想文をあつめ 9 月 17 日の近畿ブロック会議で総括を行うとともに、来年の九州ブロック (佐賀県開催) に向けて、準備を進めていく。

## 4. 各種部会

### ① 国保部会

- ・6/25 スタート「国保が高すぎる」WEB 署名 8/23 現在、5 万 3472 名の賛同
- ・国保の国庫負担引き上げを求める意見書採択運動 9 月議会への請願・陳情へ
- ・子ども医療費窓口復活を促す厚労省通知の撤回 →10/7 に厚労省等要請へ
- ・秋の国保集会 12 月 8 日 (日) 13 時 30 分~16 時 30 分 (日本医療労働会館)  
内容: 情勢学習 (国保含む保険証の情勢) と特別報告 (各地の自治体キャラバン)
- ・次回の国保部会、9 月 30 日 (月) 10 時~

### ② 介護・障害者部会

- ・11 月 11 日 (月) 介護・認知症なんでも無料電話相談 (發文 別紙)

- ・10月06日(日)第22回全国介護学習交流集会(別紙チラシ)
- ・訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等を求める運動(別紙 自治体意見書)
- ・新介護署名の第1回提出行動を臨時国会にて予定(解散総選挙の情勢を見て)
- ・介護パンフ(介護提言)の作成準備

## 5. 共闘関連

- ・マイナンバー制度反対連絡会拡大会議(別紙 今後の予定)
- ・いのちと暮らしを守る税研修会実行委員会
- ・大軍拡大増税NO連絡会
- ・秋の国民集会実行委員会:(集会は9/26 チラシ別紙)  
中央社保協担当 集会アピール(山田智先生)
- ・子ども医療全国ネット:
- ・介護集会実行委員会(集会は10/6日 チラシ別紙 次回会議9/4)
- ・25条共同行動実行委員会:未定
- ・医団連・中央社保協「保険証存続」拡大会議:未定
- ・介護7団体会議:未定 マラソンシンポジウム 9/16(月・祝)こんなはずじゃなかった介護保険私たちのケア社会をつくる(別紙)

## 6. 社保協の体制強化・学習運動の推進

- ・地域社保協づくり  
佐賀県の唐松(唐津市・玄海町)地区で、国保改善ネットワーク(仮)を結成(8月下旬から9月上旬)予定。地域社保協結成を展望する。
- ・隔月間「社会保障」編集委員の拡充と隔月間「社会保障」購読者の拡大  
購読者は現在1905部、早期2000部回復が必要
- ・連続オンライン学習会(中央社保協)  
9/05(木)18時~19時「医療費抑制政策の転換を~軍事国家化は衰退への道~」(別紙)

## 7. その他

## 8. 9/4以降の予定

- 9/05(木)地域医療集会実行委員会16時~/18~19時「軍拡より社保」オンライン学習会
- 9/06(金)マイナ連絡会 保険証のこせ デジ庁前行動(15時30分~1時間)
- 9/09(月)中国ブロック会議14時~ いのちまもる総行動実行委員会17時~
- 9/10(火)北信ブロック会議10時~ 四国ブロック会議14時~

- 9/11 (水) 北海道・東北ブロック会議 13時30分～ (リアル)
- 9/12 (木) 東海ブロック会議 10時30分～ 社保誌編集委員会 15時30分～
- 9/13 (金) 九州・沖縄ブロック会議 14時～
- 9/14 (土) 巣鴨宣伝
- 9/17 (月) 近畿ブロック会議&社保学校現地実行委員会 (15時～リアル)
- 9/18 (火) 熊本社保協総会学習講師 (17時30分～リアル)
- 9/19 (水) 全生連大会挨拶 (14時～リアル)
- 9/20 (金) 関東甲ブロック会議 (14時～リアル)
- 9/21 (土) 岐阜市社保協総会学習講師 (14時～リアル)
- 9/25 (水) 沖縄社保協総会学習 (オンライン) / 第2回代表委員会 18時～
- 9/26 (木) いのちまもる 9.26 総行動 13時～日比谷野音
- 9/27 (金) 社保テキスト会議 10時30分～ 子ども医療ネット 14時～
- 9/28 (土) 労働総研社保部会 14時～ (オンライン)
- 9/30 (月) 国保部会 10時～/マイナ連絡会保険証存続街頭宣伝 (16時～新宿)
- 10/2 (水) 第2回介護障害者部会/第2回運営委員会
- 10/6 (日) 第22回介護学習交流集会 13時～全労連会館ホール
- 10/7 (月) 子ども医療全国ネット 厚労省&こども家庭庁要請
- 10/9 (水) マイナ連絡会 保険証のこせ デジ庁前行動 (13時30分～1時間)
- 10/10 (木) 医療労働会館管理委員会 (15時～)
- 10/23 (水) 第3回代表委員会 (18時～)
- 10/24 (木) 保団連・保険証のこせ院内集会 (12～13時) マイナ連絡会屋外集会
- 10/28 (月) (いのちの砦裁判 岡山地裁判決日)
- 11/06 (水) 第3回介護障害者部会/第3回運営委員会
- 11/07 (木) マイナ連絡会 保険証を残そう 日比谷野音集会
- 11/11 (月) 介護・認知症なんでも無料電話相談
- 11/22 (金) 第37回日本高齢者大会 in 愛知～23 (名古屋国際会議場)
- 11/23 (土) 第15回地域医療を守る全国交流集会 (全労連会館ホール)
- 11/27 (水) 第4回代表委員会 (18時～)
- 11/28 (木) マイナ連絡会 保険証を残そう 集中行動日
- 12/04 (水) 第4回介護障害者部会/第4回運営委員会
- 12/08 (日) 秋の国保集会

## 9. 次回の運営委員会

2024年10月2日(水) 13時30分～ 会場は医労連会議室 B+オンライン

以上

# 中央社保協ニュース



いかそう!  
憲法 25 条

中央社会保障推進協議会 2024年8月19日 24-1号

110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 医労連会館 5階

電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345

メール k25@shahokyo.jp HP <https://shahokyo.jp/>

部内資料

8月10日 第68回全国総会 111名参加で新年度方針を確立

「大軍拡」と「社会保障削減」に突き進む国政を終わらせ、いのちと暮らしを守る「人権としての社会保障」を実現させよう



中央社保協は8月10日、全労連会館で第68回全国総会を行い中央団体や各県・地域社保協などから総勢111名（会場50名、オンライン61カ所、）が参加し新たな運動方針を確立しました。

総会は五十嵐運営委員と段運営委員を議長に、鎌倉代表委員が開催あいさつ。林事務局長が第1号議案（運動方針案）、山本事務局次長が第2号議案（23年度決算報告及び24年度予算案）を提案、川嶋監査委員が会計監査報告を行い、上所事務局長が第3号議案（2024年度役員案）を提案、午後の討論まとめを含め総会参加者の拍手で承認されました。

運動方針の提案では、生活保護をめぐる「いのちのとりで裁判」や、訪問介護の基本報酬の引き下げ反対、保険証存続や子ども医療費無料化、加齢性難聴の補聴器助成の声が広がるなか「声をあげれば変えられる」春のたたかいに確信を持

ち「大軍拡」と「社会保障削減」に突き進む国政を終わらせ、いのちと暮らしを守る「人権としての社会保障」を実現させようと提起。午後の討論では29加盟団体から各地の活動報告が出され、いずれも中央社保協の活動方針を豊かに補強するものとなりました。

楠藤運営委員が総会アピールを読み上げ、拍手で承認。新役員を代表し吉田代表委員が挨拶、最後に山田代表委員が閉会あいさつし総会を締めくりました。総会に先立ち、日本共産党の宮本徹衆議院議員が挨拶し国会報告を頂きました。また、国民大運動実行委員会、安保破棄中央実行委員会、憲法改悪阻止各界連絡会の3団体から総会メッセージが寄せられました。



午後の討論 発言者と発言内容

- ①石川県社保協 藤牧さん「能登半島地震の現状と課題について」
- ②大阪社保協 寺内さん「第51回中央社保学校 from 大阪の成功に向けて」
- ③愛知社保協 小松さん「愛知社保協のたたかい、高齢者大会 in 愛知の成功に向けて」
- ④滋賀県社保協 山本さん「滋賀県立小児医療センターを守るたたかい」
- ⑤長野県社保協 藤本さん「訪問介護基本報酬削減撤回と子ども医療費無料化のたたかい」
- ⑥千葉県社保協 竹内さん「6/12 山武地域社保協結成報告を中心に」
- ⑦山梨県社保協 津布久さん「後期高齢者医療制度不服審査請求のたたかい」
- ⑧東京社保協 大嶋さん「地域医療構想めぐる市民運動と社保協の役割」
- ⑨神奈川社保協 根本さん「なくすな保険証 神奈川県連絡会のとりくみ」
- ⑩埼玉県社保協 金澤さん「秩父・北部地域社保協交流会に取り組んで」
- ⑪岩手県社保協 高橋さん「現行の健康保険証廃止反対のたたかい」
- ⑫山口県社保協 川辺さん「生活保護のしおり・点検運動について」
- ⑬福島県社保協 渡辺さん「原発なくせ 東日本大震災 福島のたたかい」
- ⑭香川県社保協 西田さん「補聴器助成、香川みみの会連絡会の取り組み」
- ⑮岡山県社保協 森本さん「岡山県心身障害者医療費公費負担制度のたたかい」
- ⑯沖縄県社保協 高崎さん「国保改善のたたかい（特に国保学習運動）」
- ⑰保団連 曾根さん「社保テキスト学習・保険証のこせ運動・国保改善大運動」
- ⑱全日本民医連 酒井さん「手遅れ死亡事例調査 2023」
- ⑲年金者組合 木田さん「若者も高齢者も安心できる年金へ」
- ⑳全生連 西野さん「いのちのとりで裁判・桐生市の生活保護問題」
- ㉑福岡県社保協 甲斐さん「保険証をのこしてネットワークふくおかの取り組み」
- ㉒障全協 家平さん「障害者運動の成果と課題・優生保護法裁判勝利」
- ㉓京都社保協 松本さん「連続学習会・地域医療構想・地域社保協結成報告」
- ㉔和歌山社保協 佐藤さん「国保・介護保険料引き下げのたたかいの教訓」
- ㉕新婦人 高園さん「子ども医療費無償化をめぐるたたかい」
- ㉖全商連 宇野さん「社会保障改善の税金の集め方・使い方を正す運動」
- ㉗福祉保育労 民谷さん「保育士の配置基準・障がい者施設不正問題など」
- ㉘自治労連 山本さん「地方自治法改悪反対のたたかい」
- ㉙日本医労連 小栗さん「医療介護福祉分野の社会保障改善の取り組み」

「子山学校」です。4歳からタイムで戦争が迫って、小学校までの親子が参る加し、毎月登山をして交でも戦争があったことを

親

事件の背景を説明、雑を、軍事拠点が並んでい、トンネル近くにある列車、戦没者供養塔で花を手向、あけるとトンネルに入、ることを地図にして紹介、ていく列車が出てきまし、しました。

# 社会保障拡充 平和を

## 中央社保協総会で方針

中央社会保障推進協議会（中央社保協）は10日、東京都内の会場と全国をオンラインで結んで総会を開きまし。岸田政権の大軍拡と社会保障削減を許さず、憲法9条と25条を一体にした平和と社会保障拡充の実現をめざす2024年度方針を決めました。

林信悟事務局長が報告。24年度方針として「軍拡よりの社会保障拡充を求める」署名の推進と現行の保険証の存続運動をはじめ医療・介護・生活保護・年金・貧困など運動の推進を提起しました。

秋の運動にむけて、▽3年目を迎える「軍拡よりの社会保障拡充」署名を大きく広げる▽12月2日の保険証廃止を撤回させ、国民の受療権を守りぬく▽生活保護制度改善の強化▽国民健康保険料（税）の改善▽介護保険制度の改善を求める闘いなどを進めることを呼びかけました。

鎌倉幸孝代表委員はあいさつで、岸田政権が5年間で43兆円の大軍拡を進め、医療や介護など、社会保障の分野で国民負担増と給付削減をしていることを批判。「自民党政治による社会保障の抑制政策を大転換させるために市民と野党の共同を強め、世論と運動を前進させよう」と訴えました。

石川社保協の代表は、能登半島地震の復旧が遅れた状況と、被災者の医療費窓口負担免除の重要性を指摘しました。長野の代表と新日本婦人の会の代表が、子ども医療費無償化を後退させる厚労省通達撤回を求める取り組みを紹介しました。日本共産党の宮本徹衆院議員が来賓あいさつしました。代表委員に新任の吉田章、渡辺勇仁両氏ら6人を選出。事務局長は林氏が再任されました。

# 子どもらに核ごみ残すな



街頭で、核燃料搬入反対をアピールする参加者＝9日、青森県むつ市

## 青森2市で抗議行動

「知事は県民の声を聞け」「子どもたちに核のゴミを残すな」。青森県むつ市にあ

ナを得て、大阪空襲（1945年3月）で肉親を失った女性の悲愴（ひそ）を描くオリジナル作品。地元の小学生2人が賛助出演し、劇中歌の「さくら」（やなせなな作詞・作曲・歌）が聞く人の心を打ちます。最終日に出演者があいさつし、演技の難しさや苦勞とともに「命の大切さを伝えた

## 町職員 平和願いたい

持ち、観、「身、らよ、語り、思っ、同、の資、示し、まで

# 新型コロナ 「検査・

## 愛知の共産党

新型コロナ感染者数の急増を巡り、日本共産党愛知県委員会と下

奥奈歩県議は9日、大村秀章県知事宛てに、新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぐための公費助成を求め、申し入れを行い、石山淳一県委員長らも同席しました。

愛知県では、7月29日から8月4日に定点医療機関から報告されたコロナ感染者数は3920人で、入院患者数は2886人です。入

院患者数は7週連続で増加しています。申し入れは、▽高額なコロナ治療薬とPCR・抗原検査への公費助成、▽コロナワクチンの自己負担の軽減の2項目を求めています。

おこわり きょうの「まんまる団地」は作者の都合により休みます。

日本共産党から藤原祥子、佐藤武両市議が参加しました。

下奥県議は、「コロナ後遺症は味覚症状など深刻なものがあがり風邪とは異なる」「薬や検査が高額で、必要な検査や投薬をためらう人も少なくない。潜在的感染者がたくさん生じているのではないかと述べ、公費による助

# 中央社保協第68回総会動態表

総会議長

五十嵐運営委員 (医労連)

段運営委員 (埼玉)

会場受付

曽根 (保団連)

ZOOM・機器

治田 (書記局)

溝口 (全労連)

総会スケジュール		担当	備考
9:00	会場設営		
10:00	役員打合せ		
10:30	開場・ZOOM (待合室解除) 会場受付開始		
11:00	開会あいさつ (7分) 総会議長の選出	鎌倉代表委員	
11:10	議長着任あいさつ	議長	
11:15	来賓あいさつ (10分) メッセージ紹介	日本共産党 宮本徹衆議院議員	
11:30	第1号議案 (運動方針案) (30分)	林事務局長	
12:00	第2号議案 (決算・予算) (10分)	山本事務局次長	
12:10	会計監査報告 (5分)	会計監査 川嶋氏	
12:15	昼休憩 (45分・各自)		発言者の確認・準備
13:00	全体討論 (165分) 発言1人5分・30本想定	議長	途中10分間休憩 原則全員の発言を保障
15:45	休憩 (15分) ※時間調整あり		
16:00	討論まとめ (5分)	林事務局長	
16:05	第3号議案 (役員案) (5分)	上所事務局次長	
16:10	議案の承認 (第1号～第3号) (5分)	議長	それぞれ拍手で承認
16:15	総会アピール (5分)	楠藤運営委員	
16:20	新役員紹介 (3分) 代表して吉田代表委員より	林事務局長	
16:23	閉会あいさつ (7分)	山田代表委員	総会参加者数を含めて報告
16:30	終了・撤収		
17:30	懇親会 (17時に移動)	会場：楽蔵 (御茶ノ水店)	30名で予約



# 中央社保協ニュース



いかそう!  
憲法 25 条

中央社会保障推進協議会 2024年9月3日 24-6号  
110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 医労連会館 5階  
電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345  
メール k25@shahokyo.jp HP <https://shahokyo.jp/>

部内資料

## 「心が震えた」中央社保学校 from 大阪 オンラインで大成功 震災復興・政治・若者をテーマに 430 名



8月31日～9月1日の2日間、中央社保学校 FROM 大阪は、台風10号の接近のため完全オンライン開催となりました。オンライン及び集団視聴を含め実参加者数は430名でした。

第一講座「災害復興政策の根本問題」講師の田中正人先生は、日本における災害の歴史や各地での特徴的な復興実践を通じて、今の「国土

強靱化計画」や「コンパクトシティ構想」は都市の論理。都市は地方がなければ成り立たないということを理解しなくてはならない。「復興の主体はだれか?誰のための政策か?」を常に考え、今の災害復興政策の根本的な政策転換が必要であると訴えました。被災地能登の現状を石川社保協の藤牧さん、災害と自治体労働者の立場から自治労連の山本さんが特別報告を行いました。

第2講座パネルディスカッション「政治と社会保障」では、富田先生、桜田先生、元橋先生の3名がそれぞれの研究テーマを報告しその後ディスカッション。「包摂の論理」と「ケア民主主義」が新自由主義の対抗軸であり、そのための政策を浸透させる戦術や対話の重要性が強調されました。

第3講座シンポジウム「若者とともを考える社会保障の未来」では4つの団体から7名が登壇、災害支援活動や若者支援活動、現場で働く労働者の立場から日頃感じている思いや、社会保障に対する思いが素直に語られ、参加者の心を揺さぶる感動のシンポジウムでした。

急ぎ感想文をお寄せください。来年秋の中央社保学校は九州ブロック、佐賀県開催の予定です。

# 党全国業者後援会代表者会議

## 小池書記局長が報告

日本共産党全国業者後援会は8月31日、代表者会議をオンラインで開き、48カ所に参加・視聴され、総選挙勝利めざす50万の支持拡大目標など今後の活動方針を確認しました。小池晃書記局長が情勢報告しました。

主催者あいさつで太田義郎代表世話人は「失われた30年の自民党政治の継続は、暮らしとまちを疲弊させるばかりだ。共産党を勝利させて新しい政治の展望をひらこう」と語りまし

## 50万の支持拡大目標

小池氏は「異次元金融緩和による異常円安は中小企業の経営も苦しめ、下請け企業などの物価高倒産が増えた。アベノミクスによる異常な金融政策からの脱却は当然だ。しかし政府は、日銀の政策金利の引き上げに伴う中小企業などへの影響は大きくないと楽観的だ。岸田首相は具体策を示さないまま政権を投げ出したが、中小企業の資金繰りへの援助など、利上げへの手だてや下請けに対する価格転嫁対策、社会保険料の軽減や中小企業への直接支

## 高すぎる社会保険料 是正を

だ」と報告しました。京都の代表は「10月20日に経済シンポを計画している。総選挙勝利にSNSなども活用したい」、大阪の代表は「万博問題などで維新の看板が剥がれて変化が生まれている。共産党の役割を訴えて勝利したい」と発言しました。

中山眞事務局長は報告で、社会保険料の無法な徴収を是正させるなど、共産党が果たしている役割を大いに語り広げよう」と提案。

「解散・総選挙をめぐる情勢を深め、すべての比例ブロックでの議席獲得と議席増、沖縄1区の議席を守り抜く」という目標の達成に貢献しよう」と訴えました。

# 中央社保学校を開催

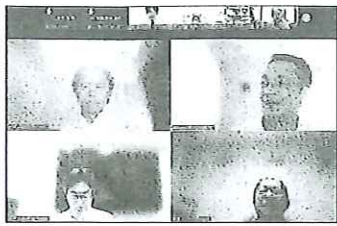
## 被災者主体の復興学ぶ

社会保障運動の歴史や闘いを学び交流する中央社会保障学校が8月31、1両日、行われました。主催は中央社会保障推進協議会。台風10号接近に伴い、大阪での開催がオンライン

ンになりました。テーマは「未来を切り拓(ひら)く権利としての社会保障と震災復興から自治体の革新へ、民主主義の道を歩もう」。31日の開会あいさつで安達克郎中央

社保協代表委員は、岸田内閣の下で大軍拡、社会保障削減政策を加速させていると批判し「大いに学び、秋からの闘いに備えよう」と呼びかけました。

田中正人追手門学院



大学教授が、災害からの復興政策について講義する中央社会保障学校8月31日

演。国が南海トラフ地震などの被害を想定して推進する国土強靱化(きょうじん)は、国家・官僚主導による「復興」をさらに強め、住む場所を選ばず被災者の人権を制限するものだと批判。日ごろの防災訓練で安否不明者全員を救助した2016年の熊本地震・西原村大切畑、防災のまちづくりを地域から提

## 米11産地「やや良」

新潟「平年並み」

収穫量は青森が「良」、北海道と東北の主力産地をはじめとする11道府県が「やや良」、米どころ新潟を含む31都府県は「平年並み」となりました。農水省は新米の流通について、9月第1週には新潟県産の供給が始まり、第2週にかけて北海道、東北、北陸の産地品種が続くとみています。

作柄概況は、沖縄県を除く46都道府県が対象。10月下旬の予想収穫量が平年と比べて106%以上が「良」、102〜105%が「やや良」、99〜101%が「平年並み」。佐

## 今月本格流通

農林水産省は8月30日、2024年産米(新米)の作柄概況(8月15日現在)を発表しました。5月以降、全国的に天候に恵まれ、予想

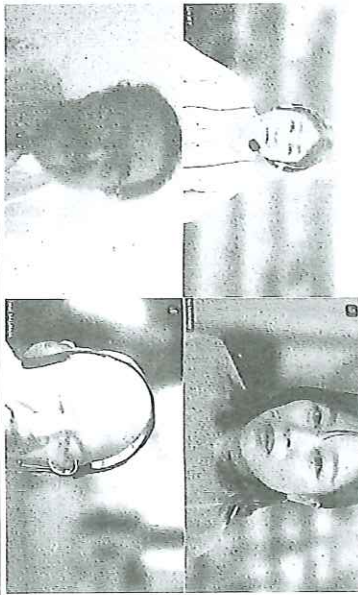
## 2市議選

動に取り組んだ2氏が報告。藤牧圭介県社保協事務局長が、復旧の遅さ、被災者の生活で暮る環境整備に関して、県の姿勢が問われると指摘。保健師の山本民子自治労連中央執行委員長が、公立病院の統合ではなく病院職員の増員・処遇改善など公共を取り戻すべきだと強調しました。

特別報告では、1月1日に発生した石川県能登半島地震の支援活

福島のいわき  
かんの  
塩・四家氏  
福島県いわき市(定数37、立候補47人)では、日本共産党の、か

# 他者へのケアは権利



中央社保学校は、分断ではなく対話こそをモットーに、関係者3人の対話を進め、話し合いを通じた関係修復を進めていく。関係者3人は、分断を乗り越え、関係修復を進めていく。関係者3人は、分断を乗り越え、関係修復を進めていく。

中央社保学校は、分断ではなく対話こそをモットーに、関係者3人の対話を進め、話し合いを通じた関係修復を進めていく。関係者3人は、分断を乗り越え、関係修復を進めていく。

## 中央社保学校終わる

関係者3人は、分断を乗り越え、関係修復を進めていく。関係者3人は、分断を乗り越え、関係修復を進めていく。

## 国家公務員の定員管理政策

政府が削減する国家公務員の定員管理(制)を進行し、35年間で約30万人まで削減できると見込まれている。削減は、2024年度から開始される。削減は、2024年度から開始される。



浅野龍一さんに聞く

## くらしを守る公務へ



# 時代遅れの仕組み

## 国民の権利保障を阻害

以上を削減し、14年には50万人まで削減する。削減は、2024年度から開始される。削減は、2024年度から開始される。

削減は、2024年度から開始される。削減は、2024年度から開始される。削減は、2024年度から開始される。

長崎「被爆体験者」訴訟 9日に地裁判決

被爆者として認められるか否かを争う訴訟。判決は、被爆者として認められるか否かを争う訴訟。

分断ではなく対話こそをモットーに、関係者3人の対話を進め、話し合いを通じた関係修復を進めていく。関係者3人は、分断を乗り越え、関係修復を進めていく。

公務員削減の是非をめぐり、関係者3人は、分断を乗り越え、関係修復を進めていく。関係者3人は、分断を乗り越え、関係修復を進めていく。

被爆者として認められるか否かを争う訴訟。判決は、被爆者として認められるか否かを争う訴訟。

分断ではなく対話こそをモットーに、関係者3人の対話を進め、話し合いを通じた関係修復を進めていく。関係者3人は、分断を乗り越え、関係修復を進めていく。



送付先：E-mail [k25@shahokyo.jp](mailto:k25@shahokyo.jp)

## 「2024 介護・認知症なんでも無料電話相談」の実施アンケート

記入者：社保協名(長野県社保協 ) 氏名(藤本 ようこ )

1. 「介護電話相談」の実施について、○を付けてください

- ① 実施する
- ② 他の相談活動と合同するなどして実施する
- ③ 検討中

2. 「介護電話相談」の日程と時間帯について

(東京社保協は、11月11日(月)10時から18時に行います)

11月 11日(月) 10時～ 16時

3. 取り組む主体は

( 長野県社保協 )

4. 実施会場について (東京は東京労働会館5階会議室)

実施会場( 長野県社保協事務所 ) 連絡先電話番号( 026-219-6314 )

5. 「認知症の人と家族の会」との共同について、○をつけてください。

- ① 相談員として協力してもらう
- ② 相談員として協力を呼びかけている
- ③ 協力の呼びかけの方法が分からない
- ④ その他 ( 取組み周知の協力を依頼する予定 )

6. 電話番号について (中央はフリーダイヤル) ※どちらかに○印を

(○) 中央のフリーダイヤル (0120-110-458) を使用する

( ) 独自の電話を使用する

電話番号 ( ) 団体名 ( )

※この件についてのお問合せ先

不明な点は、中央社保協事務局まで問い合わせください。

送付先：E-mail [k25@shahokyo.jp](mailto:k25@shahokyo.jp)

## 「2024 介護・認知症なんでも無料電話相談」の実施アンケート

記入者：社保協名(鹿児島県社保協) 氏名(日高光雄)

1. 「介護電話相談」の実施について、○を付けてください  
 ① 実施する  
 ② 他の相談活動と合同するなどして実施する  
 ③ 検討中
  
2. 「介護電話相談」の日程と時間帯について  
(東京社保協は、11月11日(月)10時から18時に行います)  
11月11日(月) 10時～17時
  
3. 取り組む主体は  
(鹿児島県社保協)
  
4. 実施会場について (東京は東京労働会館5階会議室)  
実施会場(鹿児島県医労連事務所) 連絡先電話番号(099-219-1765)
  
5. 「認知症の人と家族の会」との共同について、○をつけてください。  
 ① 相談員として協力してもらう  
 ② 相談員として協力を呼びかけている  
 ③ 協力の呼びかけの方法が分からない  
 ④ その他 (共催の申し入れを行い、会の機関紙にチラシを折り込んでもらう)
  
6. 電話番号について (中央はフリーダイヤル) ※どちらかに○印を  
(○) 中央のフリーダイヤル (0120-110-458) を使用する  
  
( ) 独自の電話を使用する  
電話番号 ( ) 団体名 ( )

※この件についてのお問合せ先

不明な点は、中央社保協事務局まで問い合わせください。

## 第22回全国介護学習交流集会

# くい止めよう介護崩壊、 実現させよう処遇改善

～利用者も事業者も労働者も笑顔で元気な介護保険制度に～

## 記念講演 介護崩壊許さない！



**小島 美里さん** 特定非営利活動法人 暮らしネット・えん 代表理事

- ◆ 全身性障がい者の介助ボランティアグループからスタートし、堀ノ内病院の在宅介護部門代表を経て2003年NPO法人暮らしネット・えんを設立。2009年毎日介護賞グランプリ
- ◆ 現在、居宅介護支援、特定相談支援、訪問介護、居宅介護、認知症通所介護、認知症グループホーム、小規模多機能型介護、配食サービス、高齢者生活共同住宅、障がい者基幹相談センターを運営。
- ◆ 認知症カフェ、ごちゃまぜカフェ、ケアマネ・介護職員のための認知症介護講座等を定期的に開催。
- ◆ 介護支援専門員、認知症介護指導者。
- ◆ 著書に「あなたはどこで死にたいですか?」、「認知症でも自分らしく生きられる社会へ」(岩波書店)、「おひとりさまの逆襲 上野千鶴子・小島美里対談」(ビジネス社)等。

マンガ  
**認知症**  
2  
秋に出版予定

## 特別報告 「報酬改定で混乱する介護現場の実態と課題」

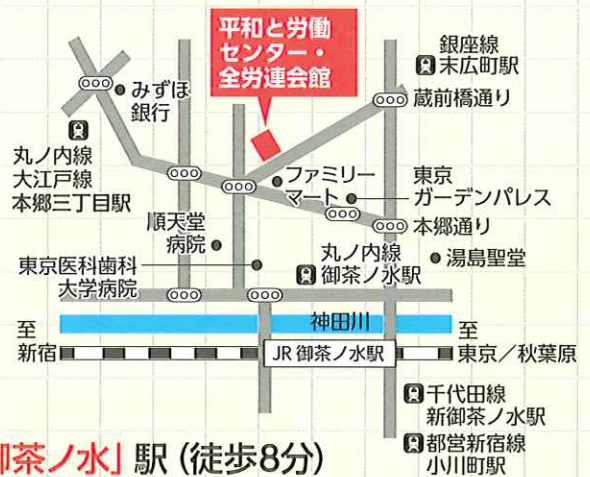
2024  
**10**  
/  
**6**日

全労連会館  
2階ホール

13:00 開場12:30  
↓  
16:00

〒133-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL03-5842-5610

最寄り駅 JR・丸ノ内線「御茶ノ水」駅/千代田線「新御茶ノ水」駅(徒歩8分)



オンライン参加は以下のQRコード・URLから

Zoomウェビナー パスコード: 142949  
<https://x.gd/1GnMs> ID: 847 9843 4328



YouTube  
<https://x.gd/qmsMe>



資料ダウンロード  
<https://x.gd/EHvAJ>



〈主催団体〉

全国介護学習交流集会実行委員会

中央社保協、全日本民医連、全労連、自治労連、日本医労連、福祉保育労、  
生協労連、建交労、全労連・全国一般、東京地評、ホームヘルパー全国連絡会  
連絡先: 全労連介護・ヘルパーネット 東京都文京区湯島2-4-4 4階 TEL: 03-5842-5611

保険者努力支援制度における令和6年度分及び令和7年度分の評価項目について

評 価 指 標	令和6年度分	令和7年度分
	配 点	配 点
特定健診受診率・特定保健指導実施率・ メタボ該当者及び予備群の減少率	125	125
がん検診受診率・歯周疾患(病)検診受診率	75	75
糖尿病等の重症化予防の取組の実施状況	70	84
個人インセンティブ・分かりやすい情報提供※	64	111
重複服薬者に対する取組の実施状況	85	95
後発医薬品の促進の取組・使用割合	140	140
収納率向上に関する取組の実施状況	100	100
データヘルス計画策定状況	15	15
医療費通知の取組の実施状況（実施がないと減点）	-10	-10
こどもの医療の適正化等の取組（新規項目）	—	60
地域包括ケア推進・一体的実施の取組状況	40	40
第三者求償の取組の実施状況	41	41
適正かつ健全な事業運営の実施状況	85	106
合 計	840	992

※個人への分かりやすい情報提供の項目にマイナ保険証の利用に関する周知や、利用率の目標に関する設問の追加あり。

	たものを必要な情報提供を行った上で、適切に通知している場合	
--	-------------------------------	--

(留意点)

- ・ 令和6年度中の実施状況を評価するものとする。
- ・ 保険者は、都道府県に別添の様式を用いて実施状況を報告するものとする。

(2) こどもの医療の適正化等の取組 (令和6年度の実施状況を評価)

評価指標	配点
① 地方単独事業として実施しているこどもの医療費助成制度について、年齢にかかわらず、外来で医療機関を受診する際、窓口での支払いが必要な制度としている場合 (外来医療費を無償化せず自己負担を設けている場合など)	50点
② 地方単独事業として実施しているこどもの医療費助成制度について、外来で医療機関を受診する際、窓口での支払いが不要な制度から窓口での支払が必要な制度に、令和6年度に変更した場合 (医療費助成の対象となる年齢層のうち一部の年齢層の制度変更を含む)	20点
③ 地方単独事業として実施しているこどもの医療費助成制度と合わせ、医療費助成担当部局と連携し、こどもの保護者に対して適切な受診を促す周知・啓発を実施している場合	5点
④ ③の取組を実施していない場合	-5点
⑤ こどもの急な病気やけがへの対応等 (夜間・休日の小児救急医療の輪番制等の体制構築に係る案内・情報提供など) を実施している場合	5点

(留意点)

- ・ 令和6年度中の実施状況を評価するものとする。

#### 4 地域包括ケア推進・一体的実施の実施状況

(1) 地域包括ケア推進の取組 (令和6年度の実施状況を評価)

評価指標	配点
国保の視点から地域包括ケアの推進に資する下記のような取組を国保部局で実施している場合	



## 保険証を残すための、マイナンバー制度反対連絡会の取り組み

政府が12月2日をもって新規の健康保険証発行を取りやめ、以後はマイナ保険証への一本化を狙っているもとの、国民皆保険制度の崩壊につながる健康保険証の廃止を中止させ、現行の保険証を残していくために、マイナンバー制度反対連絡会は当面の重要課題と位置付け、医団連、高齢期運動連絡会、中央社保協、保団連など広範な諸団体と共に、以下の運動に取り組んでいきます。ぜひ、ご協力とご参加をお願いします。

### 1. 「マイナンバー制度とマイナ保険証を考える学習会」

日時：8月30日（金）13：30～15：30

場所：全労連会館2階ホール（200人収容可能）：オンライン併用

内容：学習会① 「マイナンバー制度・マイナカードの問題点（仮）」

講師：森 田 明 氏（元内閣府情報公開・個人情報保護審査会委員）

学習会② 「マイナ保険証をめぐる現場で起きていること（仮）」

講師：曾 根 貴 子 氏（全国保険医団体連合会）

※膨大な個人情報を政府一元管理する「マイナンバー制度」の問題点を明らかにするとともに、政府が国民にマイナ保険証を強要しているために現場で起きている混乱や、マイナ保険証の問題点について学びましょう。

### 2. 地方議会の意見書採択運動

時期：9月～10月

※土建など地域組織のある団体が中心となり、自治体の9月議会にむけ「保険証を残せ」の意見書採択の運動に取り組めます。複数の団体で共同して取り組める地域は、共同の取り組みとして位置付けていきます。

### 3. デジタル庁・厚生労働省抗議行動

1回目 日時：9月6日（金）15：30～16：30

場所：デジタル庁前（千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町）

2回目 日時：10月9日（水）13：30～16：30

場所：13：30～14：30 デジタル庁

（千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町）

15：30～16：30 厚生労働省（千代田区霞が関1-2-2）

※政府に対する抗議行動です。デジタル庁に対しては、マイナ制度そのものの問題点や紐づけ誤りなど国民の不安が解消されないこと、厚生労働省に対しては、保険証は残すべきだ、医療現場にマイナ保険証促進をやらせるな、などの抗議をします。また、保険証廃止を言い出した河野太郎が自民党総裁選挙に出馬するようなので、総裁選前にもデジタル庁抗議を行います。国会議員にも参加を要請し、マスコミにも紹介します。

### 4. 保団連院内集会・マイナ連絡会屋外集会

保団連院内集会 日時：10月24日（木）12：00～13：00 場所：議員会館予定

マイナ連絡会屋外集会 日時：13：20～13：50

場所：衆議院第二議員会館前

## 5. 「～マイナ保険証の押し付け反対～ 保険証を残そう！11.7大集会」

### & 銀座パレード

日時：11月7日（木）13：00～15：40

場所：日比谷野外音楽堂 集会終了後銀座パレード

スケジュール 13：00 日比谷野外音楽堂開場

13：30～14：30 集会

14：30～14：40 西幸門付近で隊列準備

14：40～15：40 西幸門～鍛冶橋交差点・流れ解散

※日比谷野外音楽堂で、3000人規模の大集会を行います。内容は、基調報告・国会議員挨拶・ミニ講演（スタンダップコメディ―清水宏さん）・参加団体の発言・シュプレヒコールなどを予定しています。集会終了後は銀座の街をパレードし、「保険証残せ」の世論を喚起していきます。

※集会に先立ち、7日11：00～12：00に省庁要請行動を実施します。集会では省庁要請の報告も行い、「保険証を何としても残そう」の意思統一を固めあいます。

## 6. 集中行動日

日時：11月28日（木）12：00～17：15

12：00～13：00 保団連院内集会

13：30～14：30 国会正門前行動

15：15～15：45 厚労省抗議行動

16：30～17：15 デジタル庁抗議行動

※保険証の新規発行廃止日とされる12月2日を目前に、1日集中行動に取り組みます。

保団連の院内集会に続き、国会前での抗議行動、関係省庁への抗議行動に取り組みます。

## 7. マイナ保険証利用率を抑えとりくみ

医療機関や薬局で「マイナ保険証はお持ちですか」などの声かけがされ、もう保険証は使えないかのような、あるいはマイナ保険証でないと受け付けられないかのような誤解を利用者に与えています。保険証が12月2日以後も使えることを広く知らせると同時に、窓口で意思表示し、無用なトラブルを避けるための取り組みとして、グッズの配布を行います。

また、マイナ保険証の利用率を下げるために、政府が10月末に発表する「紐づけ解除」の方法について説明するパンフレットを作成します。

### ①「保険証を使います」シール

お薬手帳やスマホに貼って、医療機関や薬局窓口で提示する意思表示用シール

### ②保険証Q&Aパンフ

保険証廃止とマイナ保険証の強要に関して寄せられている疑問や不安に応えるパンフ

### ③保険証登録解除パンフ

政府が10月末に公表するマイナ保険証の紐づけ解除方法を解説するパンフ

医療・介護・福祉に国の予算を増やせ!



# 9・26 総行動

- ①医療・介護・福祉従事者の大幅増員・大幅賃上げを! 診療報酬・介護報酬の再改定を
- ②医療・社会保障費を増やせ! 患者・利用者の負担増ストップ!
- ③保険証のこせ! 保健所増やせ! 地域の医療・介護まもれ!
- ④軍事ではなく外交・社会保障重視の政治を

2024年9月26日(木) 日比谷野外音楽堂  
集会 ▶ 13:00~14:20 バレード ▶ 14:30~ 東京都千代田区日比谷公園 TEL 03-3591-6388



9・26総行動  
公式サイト

**主催** 24年「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ! 9・26いのちまもる総行動」実行委員会  
**事務局団体** 全国保険医団体連合会/全日本民主医療機関連合会/日本医療福祉生活協同組合連合会/日本医療労働組合連合会/全国大学高専教職員組合  
日本自治体労働組合総連合/東京医療関連労働組合協議会/全国福祉保育労働組合/中央社会保障推進協議会/新医協  
**連絡先** 日本医療労働組合連合会 〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 TEL 03-3875-5871 <http://www.irouren.or.jp/>



ゲスト  
コメディアン **松元ヒロ**  
撮影: 橋蓮二

医療・介護・福祉に国の予算を増やせ!



## 9・26 総行動

### タイムテーブル

13:00 主催者挨拶  
ゲストトークショー  
国会議員挨拶  
メッセージ紹介  
各分野リレートーク

14:10 集会アピール確認  
シュプレヒコール

14:30 パレード開始

### 新型コロナ対策

- ①各実行委員会・団体の要請に沿ってご参加ください。
- ②感染対策にご留意ください。

### オンラインの活用

全国各地で、オンラインやSNSも活用した行動を計画してください。

- ①集会はオンラインで配信します。  
※URL等は公式サイトでお知らせします。
- ②集団視聴をしたり、集会に呼応した行動を計画したりしましょう。
- ③ハッシュタグ「#いのちまもる」をつけて各団体の取り組みを発信してください。

「#いのちまもる 9・26 総行動」ウェブサイト  
<https://undow5.wixsite.com/inochimamoru>

### 会場

日比谷野外音楽堂

東京都千代田区日比谷公園 TEL: 03-3591-6388

### 交通のご案内

- 東京メトロ丸ノ内線「霞ヶ関駅」 B2 出口より3分
- 東京メトロ日比谷線、千代田線「日比谷駅」 A14 出口より4分
- 東京メトロ日比谷線「霞ヶ関駅」 A5 出口より4分、C4 出口より3分
- 東京メトロ千代田線「霞ヶ関駅」 C4 出口より3分
- 都営地下鉄三田線「内幸町駅」 A7 出口より3分

## 「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ! 9・26いのちまもる総行動」への賛同と参加を呼びかけます

「いつでも、どこでも、必要な時に、安全・安心の医療・介護が受けられる」ことは、国民の最も切実な願いであると同時に、憲法25条で生存権として保障された権利でもあります。

この間、コロナ禍で日本の医療・公衆衛生体制の脆弱性が浮き彫りになり、その根本にある国の低医療費・社会保障費抑制政策が厳しく批判されてきました。しかし政府は、その政策を見直さないばかりか、医療・社会保障の削減をさらに推し進めようとしています。

今回の診療報酬改定では、賃上げのためのベースアップ評価料が新設されたものの、その内容は極めて不十分なうえ、診療報酬全体としてはマイナス改定となり、医療従事者の賃上げや人材確保、地域医療の充実には程遠い内容となりました。ケア労働者の賃上げが、他産業の水準や物価高騰に追いつかず人手不足に拍車がかかり、医療・介護・福祉のサービス提供にも影響を及ぼしています。

また、マイナ保険証をめぐる問題でも、その問題点が指摘されて利用も進まず、従来の健康保険証の存続が強く求められるもとで廃止決定が強行されました。任意のマイナ保険証への切り替えにより国民皆保険制度が崩されることへの批判と、患者と医療・介護現場の混乱や負担増への懸念が強まっています。

医療・介護・福祉・公衆衛生の充実のために、診療報酬・介護報酬の抜本的引き上げ、患者・利用者負担の軽減、賃上げ・処遇改善、大幅増員は待たなしの課題です。

今こそ、憲法を守り、医療・社会保障の拡充で、いのちと暮らしを守る運動が求められています。軍事費を増やして戦争する国に進むのではなく、社会保障を拡充し、いのちと暮らし、人権をまもる政治への転換を求める声を広げていきましょう。

### 【スローガン】

- ①医療・介護・福祉従事者の大幅増員・大幅賃上げを!  
診療報酬・介護報酬の再改定を
- ②医療・社会保障費を増やせ! 患者・利用者の負担増ストップ!
- ③保険証のこせ! 保健所増やせ! 地域の医療・介護まもれ!
- ④軍事ではなく外交・社会保障重視の政治を

24年「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ! 9・26いのちまもる総行動」実行委員会



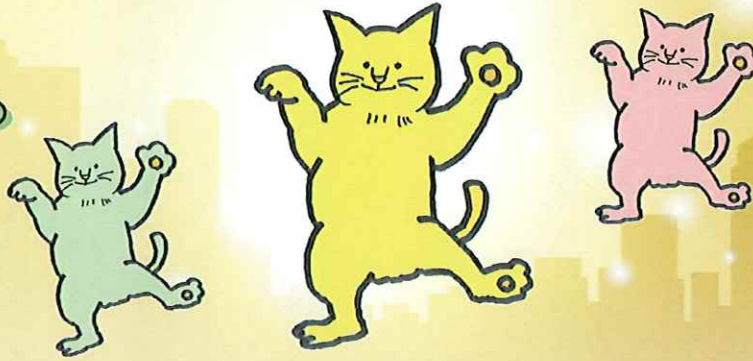
9・26総行動  
公式サイト



8時間 ぶっ通し! マラソンシンポジウム

今だから問い直す!  
介護保険のこれまでとこれから

過去・現在・未来を積み重ね、  
朝から夕方まで終日、  
討論のバトン



私たちは、  
こんな介護保険制度がほしい!!

こんなはずじゃなかった介護保険

私たちのケア社会をつくる

●日時

9月16日(月・祝)

10:00~18:00

●会場 オンライン YouTube 配信

●参加費 無料

●内容 趣旨説明：袖井孝子(高齢社会をよくする女性の会理事)  
総合司会：大熊由紀子(ジャーナリスト)

I部 10:00~12:30 【制度編】

モデレーター：上野千鶴子

発言者 小竹雅子、権丈善一、香取照幸 ほか

II部 13:30~15:30 【実践編】

モデレーター：中澤まゆみ

発言者 石井英寿、坂野悠己、菅原由美 ほか

III部 16:30~18:00 【未来編】

モデレーター：小島美里

発言者 竹信三恵子、岡部耕典、新潟県社保協 ほか  
登壇者全員による討論

●申込み Peatix からお申し込みください .....



●問合せ ケア社会をつくる会 E-mail: caresociety2023 @ gmail.com

WEB 配信担当：介護をよくする東京の会

主催：ケア社会をつくる会

共催：ウィメンズアクションネットワーク(WAN) 高齢社会をよくする女性の会(WABAS)



世界中の戦争をなくそう！ 平和な地球と豊かなくらしをとりもどそう！  
すべての人が手をとり合って、飢えと貧困をなくそう！

2024年  
第37回

# 日本高齢者大会

inあいち

11/22<sup>金</sup>・23<sup>土祝</sup>

## 名古屋国際会議場

名古屋市熱田区熱田西町1-1

記念講演

人権は生きる力  
希望ある社会のために

藤井克徳さん

(きょうされん専務理事)



オープニング

大合唱・  
太鼓演奏

プロフィール

NPO法人日本障害者協議会代表、  
日本障害フォーラム（JDF）副代表。  
2012年 国連・ESCAPチャンピオン  
賞受賞（障害者の権利擁護関連）、  
2022年 日本放送協会放送文化賞受賞。

11月22日(金)

13:00～ 学習講座・分科会・移動分科会

17:00～ 夜の交流会(愛知労働会館)

11月23日(土・祝)

10:15～ 全体会(12:30 終了予定)

●オープニング ●基調報告 ●記念講演

参加費

1日/2,500円 2日/5,000円

オンライン参加 1日/1,000円



名古屋城と御嶽山

まちから村からの連帯で ひとりぼっちの高齢者をなくそう

第37回日本高齢者大会inあいち 中央実行委員会

〒164-0011 東京都中野区中央5-48-5-504  
TEL / Fax 03-3384-6654 E-mail: nihonkouren@nifty.com

第37回日本高齢者大会inあいち 現地実行委員会

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9番7号労働会館東館301 愛知社保協気付  
TEL 052-889-6921 FAX 052-889-6931 Email: k-taikai@airoren.gr.jp